

# うつのみや市政研究センターの概要

令和元(2019)年5月17日 《宇都宮市作成》  
第4回「初ステージの総合計画に関する研究会」

## ◎ センターの必要性と課題

### (1) 現状・問題点

#### ○ 市政運営の現状

- ・「問題対応型行政」が中心  
⇒ 現時点において発生している問題への対応に追われている

#### ○ 総合政策部門の取組み状況

- ・「企画調整」が中心  
⇒ 行政施策の総合化（企画調整、施策事業の査定）が中心
- ・政策立案は「差し迫った課題」対応が中心  
⇒ 中期的課題対応の遅れ

↓  
トップマネジメント補佐機能（特に政策形成能力）が不十分

#### ○ 「先見性」

- ・中期的な視点に立った取組み（政策立案・実施）が必要
- ・課題発見能力を含めた政策立案機能の強化が必要

#### ○ 「専門性」

- ・解決が難しい課題への対応能力の向上が必要
- ・専門性が高い分野であっても、適切な実態把握・分析、課題整理をもとに、解決策を提示できる人材（外部含む）の確保が必要

#### ○ 「スピードアップ」

- ・立案・実施に必要な情報を収集・分析する能力の向上が必要
- ・トップの意志を把握・具体化する機能の充実が必要
- ・各部の政策立案をサポートする機能を高めることが必要

### (2) 対応方向

#### ○ 問題対応型から課題発見・解決型運営への移行

→ 「課題発見能力」の向上

#### ○ 政策形成の迅速化・高度化

→ 「政策マネジメント能力」の向上

↓  
**政策形成の起点となる「政策研究機能」の専門分化**

### (3) 具体的取組み

市独自のシンクタンク市政研究センターが、大学や研究機関などと連携を図りながら、新しい時代に対応した先駆的な政策を形成

#### 【取り組むべき課題】

- ①政策形成機能を高め、政策研究・立案能力を蓄積することが必要
- ②より高度な企画立案、実践、評価できる人材を増やすことが必要
- ③職員・市民・企業等と政策情報や研究成果を共有化することが必要

## ◎ センターの位置づけ

政策支援シンクタンクであり、行政と一体なって活動

- ・宇都宮市に係る中期的・専門的な課題を主体的に発掘し、解決に向けた政策を提案することを主目的とする。

## ◎ 政策審議室との役割分担

### ◇ 市政研究センター

- ⇒ 専門的・基礎的な課題に係る調査研究
- ・中期的な視野のもと自主的に調査研究を行い
- ①2～3年後に顕在化が予測される課題の解決のための対応策の提案
- ②2～3年で解決しなければならない課題についての対応策の提案

### ◇ 政策審議室

- ⇒ 実務的な課題に係る研究・立案
- ・短期的な視野のもと政策の研究を行い、
- ①関係部局と調整しながら政策を提案
- ②推進していくべき政策・施策等を（関係部局を通して）実施

## ◎ センターの機能 ⇒ 市政研究うつのみや114ページ参照

### (1) 調査研究機能

基礎的・専門的視点からの調査研究に基づく政策等の提案

#### ① 自主研究の実施

⇒政策形成機能の高度化のため、自ら政策研究を実践

#### ② 自主調査の実施

⇒よりよい政策提案を行うため、研究分野の動向・社会環境を把握

### (2) 人材育成・政策形成機能

質の高い政策研究ができる人材の育成

#### ① 政策形成の支援

⇒事業担当課の求めに応じて専門家が助言

#### ② 政策論議の場の提供

⇒職員等が政策論議に参加する場を提供

#### ③ 庁内共同研究体制の構築

⇒市職員の知見を集積

### (3) 情報の収集・発信機能

知識などを市民等と共有するための政策情報の収集・発信

#### ① 政策情報の把握

⇒政策研究・立案の素材となる諸情報の収集・分析

#### ② 政策情報の提供

⇒研究活動を通じて得られた様々な政策情報等を庁内外へ発信

#### ③ ネットワークの構築

⇒研究活動の質的向上に向け、関係機関とのネットワークを構築し、研究の提携・協力を推進

## ◎ センターの業務

### (1) 調査研究業務 ⇒ 市政研究うつのみや表紙参照

#### ① 自主調査研究

・センター自身が研究をするもので、市政運営を効果的・効率的に進めるため、1～2年の期間により実施

#### ② 共同研究

・本市が抱える行政課題について、大学や研究機関などの外部機関と調査研究の全体または一部を共同で実施

### (2) 人材育成・政策形成支援業務 ⇒ 市政研究うつのみや103～110ページ参照

#### ① 政策形成の助言・指導

・政策形成アドバイザーの派遣により、新たな政策の立案や行政手法の開発・導入に際して助言・指導  
◆所管部門の要請により学識経験者等を派遣

#### ② 庁内勉強会の実施

・多分野にわたり今後、政策形成に必要と思われるテーマなどを選定し、少人数制勉強会により人材育成を支援  
◆3229（身につく）勉強会の実施

#### ③ みや研GISの活用

・センターでデータ収集・加工したGISを活用した庁内支援

### (3) 情報の収集・発信業務 ⇒ 市政研究うつのみや112～113ページ参照

#### ① 政策情報の収集

・国内外の先進的政策の動向調査、都市情報の収集とライブラリー化

#### ② 政策情報の発信

・研究誌「市政研究うつのみや」の発行（年1回）  
寄稿、研究報告、庁内研究活動報告等  
・みや研ホームページにおける情報提供  
日頃の調査研究活動や庁内職員に情報提供したいことなどを定期的に掲載  
調査研究結果の概要と取組内容の提示

#### ③ ネットワークの構築

・研究に関連する学術団体（学会）への参加、他シンクタンク等が開催する交流会等へ参加

### (4) その他の業務 ⇒ 市政研究うつのみや97～100ページ参照

#### ① 大学生によるまちづくり提案

・市内の大学生から政策提案をコンペ形式で募集

#### ② 宇都宮大学リレー講座

・実践・宇都宮のまちづくり